

## 大学院教育に関する調査（教員編）

n=662

### A. ご自身の研究について

問 1. ご自身の専門と最も近い分野を一つ選択してください。

思想、芸術	1.7	無機・錯体化学、分析化学	1.4
文学、言語学	1.7	高分子、有機材料	1.1
歴史学、考古学、博物館学	1.8	無機材料化学、エネルギー関連化学	1.7
地理学、文化人類学、民俗学	1.1	生体分子化学	1.2
法学	1.2	農芸化学	3.0
政治学	0.2	生産環境農学	1.7
経済学、経営学	1.8	森林園科学、水圏応用科学	2.4
社会学	1.4	社会経済農学、農業工学	0.9
教育学	3.3	獣医学、畜産学	1.5
心理学	1.4	分子レベルから細胞レベルの生物学	3.2
代数学、幾何学	0.9	細胞レベルから個体レベルの生物学	2.7
解析学、応用数学	0.9	個体レベルから集団レベルの生物学	1.1
物性物理学	1.7	神経科学	1.7
プラズマ学	0.3	薬学	1.5
素粒子、原子核、宇宙物理学	1.7	生体の構造と機能	0.8
天文学	0.3	病理病学、感染・免疫学	1.2
地球惑星科学	4.4	腫瘍学	1.8
材料力学、生産工学、設計工学	2.0	ブレインサイエンス	0.8
流体工学、熱工学	2.0	内科学一般	1.5
機械力学、ロボティクス	0.6	生体情報内科学	0.2
電気電子工学	3.5	恒常性維持器官の外科学	0.3
土木工学	2.6	生体機能および感覚に関する外科学	1.4
建築学	2.4	口腔科学	1.1
航空宇宙工学、船舶海洋工学	0.9	社会医学、看護学	3.3
社会システム工学、安全工学、防災工学	0.3	スポーツ科学、体育、健康科学	1.5
材料工学	2.0	情報科学、情報工学	4.7
化学工学	1.4	人間情報学	1.7
ナノマイクロ科学	0.8	応用情報学	0.2
応用物理物性	0.5	環境解析評価	0.6
応用物理工学	1.1	環境保全対策	1.8
原子力工学、地球資源工学、エネルギー学	1.4	人間医工学	1.8
物理化学、機能物性化学	1.7	(欠損値)	0.3
有機化学	2.0		

問 2. 日頃、研究活動を行う上で、次のような視点をどの程度重視していますか。（1 つずつ選択）

	全く重視していない	あまり重視していない	どちらとも言えない	ある程度重視している	非常に重視している
a.現実の社会課題の解決	1.5	6.8	6.8	45.5	39.4
b.学術的な基礎原理の追求	0.2	2.3	2.4	39.0	56.2

問 3. ご自身の研究の目標として、以下のような特徴は当てはまりますか。（1 つずつ選択）

	全く当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらとも言えない	ある程度当てはまる	とても当てはまる
a.分野の学術的な議論に資する	0.2	0.6	2.7	36.1	60.4
b.関連業界の実務や実践に貢献	3.3	9.2	13.9	42.9	30.7
c.社会的事象や課題を明らかにする	6.6	13.4	14.2	39.6	26.1
d.社会や経済の構造変革を促進	11.9	26.3	24.8	26.6	10.4

問 4. 過去 3 年間に次のような活動を行いましたか。(1 つずつ選択)

	全くない	あまりない	ある程度ある	頻繁にある
a. 査読付きジャーナルでの論文掲載	2.6	6.6	45.9	44.9
b. 国際的な研究成果発信	8.0	11.9	46.7	33.4
c. 他分野の研究者との共同研究	8.9	22.8	43.2	25.1
d. 学会の役員(理事・評議員)	21.6	12.7	31.6	34.1
e. 学会誌の査読や研究費の審査員	5.9	6.6	45.0	42.4
f. 研究に関するアウトリーチ活動(市民への情報提供・社会的議論)	11.9	28.9	41.4	17.8
g. 民間企業・政府・自治体・NPOなどとの共同研究	28.1	19.2	32.6	20.1
h. 民間企業・政府・自治体・NPOなどへのコンサルティングや助言	34.3	21.8	29.9	14.0
i. 研究成果活用による兼業(企業役員など、大学外組織に限る)	63.6	18.3	12.1	6.0
j. 研究活動の商業化(特許・ライセンス・スピンオフ企業の創出)	60.4	20.7	14.8	4.1

問 5. 現在の研究活動における、次の方々との関わり方について教えてください。

①日頃、研究内容や活動について話をする機会がある。(1 つずつ選択)

	全く話をしない	あまり話をしない(3ヶ月に1回程度以下)	時折話をする(月に1~2回程度)	よく話をする(週に1回以上)
a. 同じ研究室の修士課程の大学院生	6.3	3.0	16.2	74.5
b. 同じ研究室の博士課程の大学院生	21.5	4.4	19.8	54.4
c. 国内の他大学に所属している研究者	2.3	26.0	53.3	18.4
d. 国内の公的研究機関の研究者	18.4	36.1	36.0	9.5
e. 海外の大学・公的研究機関の研究者	30.4	40.3	23.9	5.4
f. 他分野の研究者	14.5	38.1	37.0	10.4
g. 政府・自治体・NPOの関係者	50.2	29.0	16.0	4.8
h. 関連する業界の専門家や実務家	32.8	32.5	26.9	7.9
i. 民間企業やベンチャー企業の社員	43.1	28.9	20.5	7.6

②現在、共同研究を実施している。(当てはまるものを全て選択)

a. 同じ研究室の修士課程の大学院生	71.3
b. 同じ研究室の博士課程の大学院生	55.3
c. 国内の他大学に所属している研究者	75.1
d. 国内の公的研究機関の研究者	43.1
e. 海外の大学・公的研究機関の研究者	39.6
f. 他分野の研究者	41.4
g. 政府・自治体・NPOの関係者	11.6
h. 関連する業界の専門家や実務家	12.2
i. 民間企業やベンチャー企業の社員	34.3

問 6. 今年度、大学から配分された個人研究費と、ご自身が獲得した競争的外部資金の総額について教えてください。

①個人研究費

なし	9.5
10万円以上	5.6
10~20万円未満	12.5
20~30万円未満	12.8
30~40万円未満	8.8
40~50万円未満	8.3
50~60万円未満	4.5
60~70万円未満	3.6
70万円以上	34.3

②公的機関からの競争的外部資金

なし	15.4
1~100万円未満	19.5
100~250万円未満	21.8
250~500万円未満	13.7
500~750万円未満	6.3
750~1000万円未満	4.5
1000~2000万円未満	8.2
2000~3000万円未満	6.3
3000万円以上	4.2

③民間企業や民間財団からの外部資金

なし	43.5
1~100万円未満	18.3
100~250万円未満	14.2
250~500万円未満	11.8
500~750万円未満	3.6
750~1000万円未満	3.9
1000~2000万円未満	3.2
2000~3000万円未満	0.3
3000万円以上	1.2

問 7. 所属する部局では、教員評価で次のような活動は重視されていますか。(1 つずつ選択)

	全く重視されていない	あまり重視されていない	どちらとも言えない	ある程度重視されている	非常に重視されている
a. 査読付きジャーナルでの論文掲載	0.8	1.7	2.6	25.5	69.5
b. 国際的な研究成果発信	1.4	3.2	7.6	43.2	44.7
c. 他分野の研究者との共同研究	5.3	13.1	29.0	38.5	14.0
d. 学会の役員(理事・評議員)	7.7	15.3	38.8	35.0	3.2
e. 学会誌の査読や研究費ファンディングの審査員	14.5	23.1	38.4	21.9	2.1
f. 研究に関するアウトリーチ活動(市民への情報提供・社会的議論)	6.8	14.8	35.5	39.1	3.8
g. 現実の社会課題の解決を目的とする研究	6.8	14.8	39.6	30.1	8.8
h. 民間企業・政府・自治体・NPOなどとの共同研究	7.1	13.3	32.2	39.6	7.9
i. 民間企業・政府・自治体・NPOなどへのコンサルティングや助言	10.3	18.7	43.5	24.8	2.7
j. 研究成果活用による兼業(企業役員など、大学外の組織に限る)	13.7	20.7	43.8	19.9	1.8
k. 研究成果の商業化(特許・ライセンスング・スピンオフ企業の創出)	5.7	12.4	34.9	37.0	10.0

問 8. 所属学会における研究者の間では、次のような研究活動を促進することが重視されていると思いますか。(1 つずつ選択)

	全く重視されていない	あまり重視されていない	どちらとも言えない	ある程度重視されている	非常に重視されている
a. 国際的な研究成果発信	0.0	2.1	7.7	37.0	53.2
b. 他分野の研究者との共同研究	1.2	6.9	29.6	41.7	20.5
c. 研究に関するアウトリーチ活動(市民への情報提供や社会的議論への参加)	1.4	8.0	31.6	44.1	15.0
d. 現実の社会課題の解決を目的とする研究	1.1	6.2	24.6	45.9	22.2
e. 民間企業・政府・自治体・NPOなどとの共同研究	4.2	14.2	41.4	33.2	6.9
f. 民間企業・政府・自治体・NPOなどへのコンサルティングや助言	7.3	19.0	46.8	22.4	4.5
g. 研究成果活用による兼業(企業役員など、大学外の組織に限る)	11.9	21.3	48.8	15.3	2.7
h. 研究成果の商業化(特許・ライセンスング・スピンオフ企業の創出)	8.5	18.9	42.3	25.1	5.3

## B. 研究室について

問 9. 現在、自身の研究室に在籍している教員と博士研究員の人数を教えてください。

	専任教員	特任教員	博士研究員
0人	10.1	83.1	72.3
1人	41.4	10.4	16.0
2人	20.8	3.3	5.4
3人	16.3	1.1	2.7
4人	5.1	0.8	1.8
5人	2.4	0.6	0.8
6人	0.6	0.3	0.3
7人	1.2	0.3	0.2
8人	0.9	0.0	0.2
9人	0.3	0.0	0.0
10人以上	0.8	0.0	0.0
(欠損値)	0.0	0.2	0.3

問 10. 現在、自身の研究室に在籍している学生の人数を教えてください。

	学部			修士				博士			
	(総数)	社会人	留学生	(総数)	社会人	留学生	他大出身者	(総数)	社会人	留学生	他大出身者
0人	17.8	96.1	90.5	17.4	90.2	71.3	54.5	34.6	68.1	67.2	67.1
1人	4.8	2.3	6.2	8.8	5.4	15.7	17.8	20.1	16.5	14.5	15.4
2人	6.8	0.6	1.5	10.3	1.5	6.3	10.7	14.7	7.4	8.0	5.6
3人	8.6	0.8	1.5	11.5	0.8	2.6	7.1	10.1	2.6	4.1	4.2
4人	10.0		0.2	8.5	0.8	1.7	3.2	5.4	1.7	2.7	3.5
5人	11.6	0.2	0.2	8.9	0.3	0.9	2.4	3.8	1.2	1.4	0.9
6人	7.7			7.6	0.6	0.8	1.5	2.7	0.8	0.8	1.4
7人	6.5			5.9			0.6	2.3	0.5	0.3	0.5
8人	4.2	0.2		4.5		0.3	0.3	1.5	0.2	0.5	0.6
9人	2.9			3.6			0.5	0.9	0.3	0.3	0.5
10人	3.5			3.6		0.3	0.6	0.8			
11人	2.9			2.4	0.2		0.3	0.6	0.5		
12人	1.7			2.0				0.8	0.2		
13人	2.1			1.2				0.3			
14人	0.5			1.1							
15人	0.8			1.1				0.3			0.2
16人	1.2			0.9						0.2	0.2
17人	0.6			0.3				0.3	0.2		
18人	0.3			0.2			0.2				
19人	0.3										
20人	0.8			0.2				0.5			
21人	0.6							0.2			
22人	0.3							0.2			
23人	0.2										
24人	0.3							0.2			
25人	0.2										
26人	0.3										
27人	0.2										
28人	0.3										
29人											
30人	0.8										
31人											
32人											
33人											
34人											
35人											
36人											
37人											
38人											
39人											
40人以上	1.5										
わからない											
(欠損値)				0.3	0.3	0.2	0.3		0.2	0.2	0.2

問 11. 以下の大学院生について、積極的に受け入れたいとお考えですか。(1 つずつ選択)

	全く受け入れたくない	あまり受け入れたくない	どちらとも言えない	ある程度積極的に受け入れたい	積極的に受け入れたい
a.同一大学からの進学者	0.0	0.2	5.4	18.4	76.0
b.他大学からの進学者	0.3	1.4	9.2	34.7	54.4
c.留学生	2.0	6.5	26.9	36.7	27.9
d.社会人	0.6	4.4	23.6	36.9	34.6

問 12-1. 今年度、研究室に所属する大学院生の研究活動に次のような研究費を支出したことがありますか。当てはまるものを全て選択してください。

a.物品費(大学院生の使用する設備備品、消耗品の購入等)	85.6
b.旅費(大学院生の国内・国外出張旅費等)	76.6
c.人件費(大学院生の雇用経費等)	46.5
d.その他	11.8
e.支出したことはない	9.4

問 14. ご自身が指導した修士課程の学生で、修了後に次のような進路に進んだ方はどの程度いますか。(1 つずつ選択)

	全くない	あまりない	ある程度いる	たくさんいる
a.博士課程への進学	31.1	25.1	37.0	6.8
b.海外大学院への進学	80.2	15.3	4.1	0.5
c.大学教員	63.3	18.3	17.2	1.2
d.大学以外の研究職	45.6	22.4	25.7	6.3
e.民間企業(研究職以外)	20.1	8.3	31.1	40.5
f.ベンチャー企業	66.3	23.6	9.1	1.1
g.官公庁などの公的機関(研究職以外)	47.7	23.4	23.6	5.3
h.小中高の教員や医師、弁護士などの専門職	66.3	14.0	12.1	7.6
i.起業・自営業	77.5	19.0	3.0	0.5

問 15-1. これまでに指導した博士課程の学生の人数についてお答えください。

指導したことがない	23.6
1~3人	25.7
4~9人	33.4
10~19人	11.5
20~49人	4.1
50~99人	1.5
100人以上	0.3
合計	100.0

問 15-2. ご自身が指導した博士課程の学生で、修了後に次のような進路に進んだ方はどの程度いますか。(1 つずつ選択)

	全くない	あまりない	ある程度いる	たくさんいる	(欠損値)
a.海外大学院への進学	61.0	10.0	6.2	0.3	22.5
b.大学教員	25.4	11.8	34.3	6.8	21.8
c.特別研究員(PD)	45.8	12.1	16.5	3.2	22.5
d.大学以外の研究職	30.8	15.3	26.1	5.7	22.1
e.民間企業(研究職以外)	32.2	15.6	22.5	7.4	22.4
f.ベンチャー企業	62.1	11.3	3.0	0.6	23.0
g.官公庁などの公的機関(研究職以外)	57.4	11.2	8.2	1.2	22.1
h.小中高の教員や医師、弁護士などの専門職	60.1	7.1	5.1	4.8	22.8
i.起業・自営業	66.8	8.2	2.0	0.3	22.8

問 16. ご自身の研究室運営について、以下のうち困っていることはありますか。(1 つずつ選択)

	全く困って いない	あまり困っ ていない	どちらとも 言えない	ある程度 困っている	とても困っ ている
a.大学院生(修士課程)の確保	7.3	16.3	19.3	35.5	21.6
b.大学院生(博士課程)の確保	15.4	28.4	24.3	22.5	9.4
c.大学院生の基礎的な知識の不足	14.5	40.3	24.2	16.6	4.4
d.研究費の安定的な確保	34.1	34.3	16.3	12.2	3.0
e.研究室スタッフの不足	25.2	35.5	21.6	12.8	4.8
f.スタッフや学生とのコミュニケーション	4.2	15.3	28.1	34.7	17.7

## C. 大学院教育について

問 17. 大学院教育におけるご関心は、主として研究者養成、あるいは職業人養成のどちらにありますか。

(1つ選択)

主として研究者養成	18.4
どちらかといえば研究者養成	21.9
両方ある	42.6
どちらかといえば職業人養成	11.8
主として職業人養成	5.3

問 18. 修士課程の大学院生についてどのようにお考えですか。AとBのうち、近い番号をそれぞれ一つ選んでください。

		Aに非常に近い	Aに近い	Bに近い	Bに非常に近い
A.院生は教育の対象である	B.院生といえども自立した研究者である	29.2	41.4	23.7	5.7
A.院生の個人研究を重視する	B.研究室の共同研究を重視する	26.3	36.7	25.8	11.2
A.早い段階で研究業績を積ませたい	B.じっくり基礎を学ばせたい	17.4	37.9	34.6	10.1
A.研究テーマは院生が決めるものだ	B.研究テーマは教員が決めるものだ	16.6	34.1	36.4	12.8
A.社会に関係なく研究を深めさせたい	B.研究を通じて社会に貢献させたい	10.9	28.7	38.5	21.9
A.分野における専門性を高めてほしい	B.汎用的な能力を身につけてほしい	21.9	47.1	25.8	5.1

問 19. 博士課程の大学院生についてどのようにお考えですか。それぞれひとつ〇を付けてください。

		Aに非常に近い	Aに近い	Bに近い	Bに非常に近い
A.院生は教育の対象である	B.院生といえども自立した研究者である	7.6	10.4	38.2	43.8
A.院生の個人研究を重視する	B.研究室の共同研究を重視する	46.2	34.0	15.1	4.7
A.早い段階で研究業績を積ませたい	B.じっくり基礎を学ばせたい	54.5	34.4	8.6	2.4
A.研究テーマは院生が決めるものだ	B.研究テーマは教員が決めるものだ	39.9	39.9	17.8	2.4
A.社会に関係なく研究を深めさせたい	B.研究を通じて社会に貢献させたい	21.1	30.4	26.9	21.6
A.分野における専門性を高めてほしい	B.汎用的な能力を身につけてほしい	55.3	33.2	7.7	3.8

問 20. ご自身が指導する大学院生に身に付けさせたい能力について教えてください。(1つずつ選択)

	全く当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらとも言えない	ある程度当てはまる	とても当てはまる
a.研究企画力	0.0	0.8	4.8	42.4	52.0
b.専門的な知識と研究遂行能力	0.0	0.2	1.2	26.3	72.4
c.研究成果の創出と拡散能力	0.2	1.4	6.3	47.3	44.9
d.研究ネットワーク能力	0.6	3.8	17.1	51.5	27.0
e.研究協働能力	0.2	3.0	12.4	54.7	29.8
f.プロジェクト管理能力	0.6	6.6	21.9	47.7	23.1
g.教授能力	1.5	8.2	31.0	44.4	15.0
h.キャリア開発能力	1.4	5.1	32.9	45.2	15.4
i.職場環境を理解する能力	1.4	6.3	29.6	44.7	18.0
j.自己アイデンティティの発見能力	1.2	3.0	20.5	47.3	27.9
k.起業能力	11.8	26.7	45.8	12.5	3.2
l.英語による研究能力	0.9	3.6	13.7	46.1	35.6

問 21. 所属する研究科では、現在、大学院教育の改善に関わる以下のことを実施されていますか。また、それは重要だと思われませんか。

①実施状況

	実施している	実施していない	わからない
a.体系的・統一的な教育プログラムを作る	56.9	28.9	14.2
b.複数教員による指導	76.6	16.5	6.9
c.企業等と連携した教育プログラムの提供	30.1	50.0	19.9
d.社会人学生が学ぶための配慮(土日・夜間の開講、オンライン授業など)	38.7	41.8	19.5
e.アントレプレナーシップ教育(起業家教育)	28.5	46.2	25.2
f.学生が取り組むプロジェクト学習	43.7	30.8	25.5
g.コースワークによる専攻横断的な教育プログラムの提供	53.6	27.5	18.9

②重要度

	全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらとも言えない	ある程度重要	非常に重要
a.体系的・統一的な教育プログラムを作る	1.4	6.5	16.0	48.8	27.3
b.複数教員による指導	0.0	5.1	18.6	48.0	28.2
c.企業等と連携した教育プログラムの提供	4.2	14.4	39.0	34.7	7.7
d.社会人学生が学ぶための配慮(土日・夜間の開講、オンライン授業など)	3.8	9.2	33.8	36.4	16.8
e.アントレプレナーシップ教育(起業家教育)	7.3	19.6	43.1	25.5	4.5
f.学生が取り組むプロジェクト学習	2.6	7.1	34.0	41.4	15.0
g.コースワークによる専攻横断的な教育プログラムの提供	2.6	9.1	29.9	44.4	14.0

問 22. 研究科からは、ご自身の所属する専攻の定員を充足するような要請がありますか。(1つずつ選択)

	全くない	あまりない	どちらとも言えない	ある程度ある	とてもある	(欠損値)
a.修士課程	11.8	17.7	14.2	33.1	22.7	0.6
b.博士課程	9.5	11.6	18.0	32.3	27.3	1.2

問 23. 所属する専攻の過去3年間の定員の充足状況を教えてください。(1つずつ選択)

	0～19%	20～39%	40～59%	60～79%	80～99%	100%	わからない	(欠損値)
a.修士課程	4.4	1.7	3.2	10.3	19.6	46.2	13.3	1.4
b.博士課程	5.0	5.7	12.7	17.1	15.3	17.4	25.2	1.7

## D. ご自身について

問 24. 授業期間中の平均的な 1 週間を想定し、以下の活動にどの程度時間を使っていますか。(1 つずつ選択)

	0時間	1-10時間	11-20時間	21-30時間	31-40時間	41-50時間	51-60時間	61時間以上
a.教育活動	0.6	28.7	43.7	18.6	5.3	1.7	0.5	1.1
b.研究活動	0.8	31.9	37.3	16.8	5.7	4.1	0.6	2.9
c.社会サービス	26.0	55.9	13.0	2.4	1.4	0.3	0.2	0.9
d.大学の管理運営	1.8	49.8	30.5	11.9	2.9	0.9	0.8	1.4

問 25. 学生の休暇期間中の平均的な 1 週間を想定し、以下の活動にどの程度時間を使っていますか。(1 つずつ選択)

	0時間	1-10時間	11-20時間	21-30時間	31-40時間	41-50時間	51-60時間	61時間以上
a.教育活動	10.0	61.8	20.4	5.3	1.1	0.8	0.0	0.8
b.研究活動	0.8	14.0	35.0	29.2	9.7	4.1	3.6	3.6
c.社会サービス	26.6	49.5	17.4	3.6	1.4	0.3	0.0	1.2
d.大学の管理運営	5.6	52.0	25.8	10.4	3.5	0.6	0.3	1.8

問 26-1. ご自身の出身大学について伺います。学部と修士課程の大学は同じでしたか。

同じ	70.5
違う	20.7
修士課程に所属していない	8.2
(欠損値)	0.6

問 26-2. 修士課程と博士課程の大学は同じでしたか。

同じ	68.4
違う	17.1
修士課程または博士課程に所属していない	13.7
(欠損値)	0.8

問 26-3. 博士課程の大学と現在の所属大学は同じでしたか。

同じ	27.9
違う	63.4
博士課程に所属していない	7.9
(欠損値)	0.8

問 27. 以下の項目について教えてください。(1 つずつ選択)

### ①年齢

20代	0.2
30代	5.1
40代	31.3
50代	44.0
60代以上	19.5

## ②性別

女性	12.7
男性	85.3
その他	0.9
(欠損値)	1.1

## ③出身地

日本	97.9
その他	1.5
(欠損値)	0.6

## ④職位

教授	55.9
准教授	42.4
その他	1.7

## ⑤任期

任期なし	89.4
任期あり更新可	9.1
任期あり更新不可	1.5

## ⑥外部資金による雇用

当てはまる	1.8
当てはまらない	97.4
(欠損値)	0.8

## ⑦最終学歴

博士	94.9
修士	4.5
学士	0.6

## ⑧博士号授与機関

国内の大学	94.0
海外の大学	2.4
該当しない(博士号は取得していない)	3.6

## ⑨大学教員になった年齢

20代	42.7
30代	45.5
40代	9.5
50代	2.3

## ⑩経験した職種

a.他の国立大学の専任教員	38.5
b.他の私立大学の専任教員	12.5
c.公的研究機関の研究職	18.0
d.民間企業の研究職・社員	14.4
e.官庁・自治体の行政職	3.0
f.ポスドク・研究員	39.1
g.海外の高等教育機関での研究職	16.2
h.小中高の教員や医師、弁護士などの専門職	7.9
i.いずれも該当しない	14.4

⑪1年以上の留学、在外研究、在外勤務経験

1年以上の留学、在外研究、在外勤務経験	41.2
---------------------	------

⑫現在の勤務先での勤続年数

10年未満	30.4
10～19年	34.3
20～29年	24.9
30年以上	10.4

## E. 博士学生の研究能力について

問 28. 過去 10 年程度と比べて、ご自身が指導する博士学生の研究能力についてどのように感じていますか。

非常に下がっている	8.2
やや下がっている	14.5
どちらとも言えない	25.7
やや上がっている	9.4
非常に上がっている	2.4
わからない	8.9
(欠損値)	31.0

## F. 近年の政策についての意見

問 29. 近年の科学技術イノベーション政策では、社会の諸課題への対応や新たな価値創出のために多様な分野の知見を集める「総合知」が重視されています。次のような意見について、どのように思われますか。(1つずつ選択)

	全く思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	ある程度そう思う	とてもそう思う
a. 大学院生のうちから他分野の知識も身につける	1.7	8.9	15.1	57.4	16.9
b. 文理の垣根を超えた共同研究に取り組む	3.9	16.3	30.4	37.8	11.6
c. 解決すべき社会課題や目指すべき社会像を起点とした研究を重視	5.4	13.6	27.8	37.2	16.0
d. 研究の初期段階から市民と交流し、研究デザインや活動に反映	13.9	27.5	35.5	17.5	5.6
e. 業績評価には、研究の社会的な意義やインパクトも考	7.6	15.1	28.4	36.6	12.4

問 30. ご自身の研究は、いわゆる「社会変革型の研究」だと考えていますか。

全く思わない	12.7
あまり思わない	23.1
どちらとも言えない	27.3
ある程度そう思う	30.4
とてもそう思う	6.5